

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和05年07月31日

計画の名称	美濃加茂市の安全な住環境の整備推進計画（防災・安全）（重点計画）													
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	美濃加茂市													
計画の目標	安全・安心、快適なまちづくりと、公共用水域の水質安全を図ります。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		885	A	885	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H30当初）	（R2末）	（R4末）
1	下水道による都市浸水対策の達成率を88.5％（H30）から91.7％（R4）に増加させる。（降雨強度は52mm/hで5年確率に対応）			
	下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（ha）	89%	90%	92%
2	ストックマネジメント計画に基づく雨水ポンプ場設備改築の実施によりライフサイクルコストを1億円／年縮減する。			
	ライフサイクルコストの縮減額 H30当初からの縮減額（億円）／5年間の縮減額（億円）	0%	60%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	美濃加茂市	直接	美濃加茂市	ポンプ場	改築	雨水ポンプ場施設更新	電気設備更新、自家発電設備更新	美濃加茂市	■	■	■	■	■	372		策定済	
		長寿命化																		
	A07-002	下水道	一般	美濃加茂市	直接	美濃加茂市	管渠（雨水）	改築	小山雨水幹線（浸水対策）	U4500×1100からU1600×1200 L=764m	美濃加茂市	■	■	■	■	■	301		-	
	A07-003	下水道	一般	美濃加茂市	直接	美濃加茂市	管渠（雨水）	改築	今泉雨水幹線（浸水対策）	□1400×1400から□1000×1000 L=699.4m	美濃加茂市		■	■	■	■	212		-	
											小計							885		
											合計							885		

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

美濃加茂市建設水道部上下水道課にて評価を実施

事後評価の実施時期

令和5年7月

公表の方法

美濃加茂市公式ホームページにて公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

雨水幹線の整備により、下水道による都市浸水対策達成が93%となり、家屋等の浸水被害の軽減に寄与した。
ストックマネジメント計画に基づき、老朽化した下水道施設（雨水ポンプ場）の計画的な改築更新を実施したことにより、事故の未然防止及びライフサイクルコストの低減に繋がった。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○ 特記事項（今後の方針等）

今後も引き続き、雨水幹線の整備やストックマネジメント計画に基づく雨水ポンプ場の改築更新を進め、安全な住環境の整備に努めます。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道による都市浸水対策の達成率を増加させる。		
	最 終 目標値	92%	目標達成
	最 終 実績値	93%	
2	雨水ポンプ場設備改築の実施によりライフサイクルコストを縮減する。		
	最 終 目標値	100%	目標達成
	最 終 実績値	100%	